

鹿 県 身 障



年 頭 の ご あ い さ つ

社会福祉法人

鹿児島県身体障害者福祉協会

会 長 佐 藤 彰 矩



発 行 所

社会福祉法人

鹿 児 島 県

身体障害者福祉協会

鹿児島市小野一丁目1-1

ハートピアかごしま3階

電 話 099-228-6271

発 行 人 佐 藤 彰 矩

か ん ぎ 第 143 号

皆様方には、日頃から鹿児島県身体障害者福祉協会の運営並びに活動に対し深いご理解とご支援をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、平成25年は障害福祉分野において、一つの区切りの年であったのではないでしようか。

国においては6月に「障害者差別解消法」が成立しました。さらに、12月には「障害者権利条約」の批准が国会で承認され、今年になり批准書は国連に提出されました。もちろん批准で終わりではなく、障害者施策が新たな一歩を踏み出したのだと考えています。

目を国内から県内に向けてみますと、昨年3月、県は国の「障害者基本計画」を基本とし我が県の障害者の状況を

踏まえた「障害者計画」を策定しました。また、昨年3月からいわゆる障害者差別禁止条例の検討が進められてきました。いよいよこの春には「障害のある人もない人も共に生きる鹿児島づくり条例(仮称)」として制定されるよう

なっています。この条例は、福祉サービスの向上や県民に対する意識啓発等により、障害のある人に対する差別の解消の推進、障害の有無により分け隔てられることなく相互に人格と個性を尊重し合う共生社会の実現を目指しています。

このように、障害者を取り巻く現状は、まだ多くの解決しなければならない面が残っているとはいえ、一歩一歩前進してきていることは確か

でしょう。当協会としても環境の変化を踏まえつつ、今年もその事業を着実に実施していきたいと考えています。特に県から指定管理者として受託している障害者自立交流センターと視聴覚障害者情報センターの業務については、利用者の皆様に利用してよかったですと思われるよう職員一同努力してまいりたいと存じます。

今年も新年です。正午という字にも使われているように、午年は干支の中で最も生命力が強く、太陽が最も頂上に昇る干支なのだそう。平成26年が皆様方にとって生命力あふれる最良の年となりますよう祈念申し上げます。



○ 手塚盛幸氏が九身連会長(組織活動功労)表彰を受賞

前湧水町身体障害者福祉協議会会長の手塚盛幸氏(80)が、11月27日佐世保市で開催された九州ブロック身体障害者相談員研修会の席上、九州身体

障害者団体連絡協議会会長表彰(組織活動功労)を受賞しました。同氏の旧栗野町身体障害者協会会長としての功績、合併後の湧水町身体障害者福祉協議会会長としての功績等が認められたものです。

○ 徳田泰三氏が平成25年度厚生労働大臣表彰を受賞

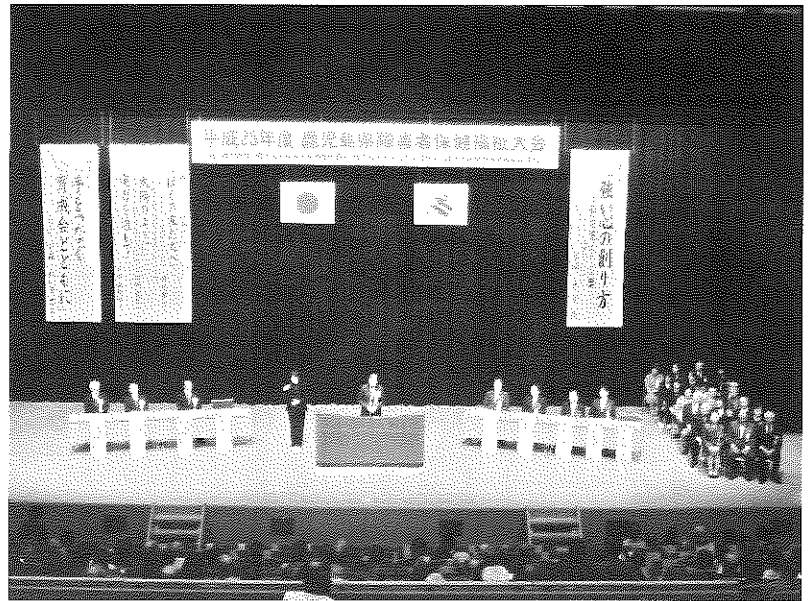
12月12日に表彰式典が行われた平成25年度厚生労働大臣表彰(更生援護功労者)に、与論町身体障害者福祉協議会会長徳田泰三氏(72)が選ばれました。同氏が、与論町身体障害者福祉協議会の理事兼事務局長、副会長、会長として、永年にわたり組織確立・運営に携

わり会員の拡大と組織の強化・充実を図ってきたこと、県身体障害者相談員として活動してきたことなど、その功績が認められたものです。

お二方に対しお祝い申し上げます。心よりお慶び申し上げます。

かんぎの製作費の一部に鹿児島県共同募金会の配分金を充当させていただきます。

# 平成25年度 鹿児島県障害者保健福祉大会



平成25年度鹿児島県障害者保健福祉大会が、平成25年11月15日に鹿児島県民交流センターで開催され、県内から約580名の障害者やその家族等が集いました。

大会は、知事表彰・団体長表彰に引き続き、長島町の小森れい子さんによる体験発表が行われた後、宮崎県立清武せいりゅう支援学校小学部（前鹿児島県立武岡台養護学校小

学部）4年生の迫悠聖さん、鹿児島市立鹿児島玉龍中学校3年生の下吹越愛莉さん、神村学園高等部2年生の淵田奈都妃さんによる体験作文の発表が行われました。

その後、「強い心の創り方」私を支えた言葉」と題して、心理カウンセラーとして活躍されている宮崎あつ子氏の講演がありました。宮崎氏は、筋ジストロフィーという難病

を受け入れながら19歳まで生き抜いた長男を通じ、命の大切さや生きることの喜びを感じてほしい、とセミナーや講演活動を全国で行っていらつしやいます。長男の病気が分かって苦しんでいた時、ある園長先生からかけられた「障害はあなたのせいでも息子のせいでもないのだから、卑屈にならなくてもいい。これから様々な辛いこともあるだろうが、そんな時に長男が、僕のせいではない、としつかり言い返せるのが大切。そういうふう育てるのがあなたの役目」という言葉に、宮崎氏は今日まで生かされたということでした。その言葉通り、長男は「弟たちは元気なのに、どうして自分だけ車椅子なの？」というような、母親を恨むような言葉などは一切なかったそうです。難病と正面から向き合った長男とそれを支え続けた家族の話に、会場は感動に包まれました。

最後に、大会宣言が読み上げられ閉会しました。



### 【鹿児島県知事表彰者】

・ 障害者自立更生部門

鹿児島市 吉開光  
阿久根市 尻無濱治  
阿久根市 脇園壽哉  
指宿市 内山京子  
指宿市 中村祐子

・ 障害者更生援護部門

鹿児島市 瀬野浦祐矩  
鹿児島市 宮園巡  
いちき串木野市 浅井重己

南九州市 上野春彦  
さつま町 四位芳彦

### 【鹿児島県身体障害者福祉協会会長表彰者】

・ 自立更生の部

薩摩川内市 木場賢  
いちき串木野市 入枝慶二  
錦江町 郷原正義

・ 更生援護の部

鹿児島市 神戸恵子  
鹿児島市 寿福三男  
鹿児島市 向川義和  
指宿市 濱崎輝夫  
指宿市 濱崎治男  
薩摩川内市 岩崎貞道  
薩摩川内市 山元一友  
日置市 浅井良一

### 住宅用火災警報器は 設置しましたか？

平成24年中における本県の住宅火災の出火原因をみると、件数の多い順に「こんろ」、「電灯・電話等の配線」、「たばこ」となっています。空気が乾燥し、火災の発生しやすい季節になつていきますので、より一層の注意が必要です。

住宅火災の未然防止や早期発見、早期避難に非常に高い効果があるのが住宅用火災警報器で、すべての住宅で設置が義務づけられています。また、住宅用火災警報器が設置されている場合は、設置されていない場合に比べ死者数、焼損床面積、損害額といった被害状況が概ね半減しているとの調査結果もあります。

住宅用火災警報器の中には、警報音が聞きづらい方や盲ろう者の方のために、警報を光や振動で伝えるものや戸外に警報を知らせるものなどもあります。大切な命と財産を守るため、住宅用火災警報器をまだ設置していない方は、必ず設置してください。

個人競技でメダル40個  
第13回全国障害者スポーツ大会  
「スポーツ祭東京2013」

全国障害者スポーツ大会「スポーツ祭東京2013」が、平成25年10月、東京都調布市などで開催されました。本県からは、個人競技と団体競技合わせて50名の選手が参加。金メダル17個、銀メダル9個、銅メダル14個と、合計40個のメダルを獲得しました。

大会が開催される前月、2020年の東京オリンピック・パラリンピック誘致が成功。今大会は、その盛り上がりが大いに感じられ、開会式の歓迎演技では、2020年の旗が空に舞いました。

本県選手団の個人競技では、陸上競技の永田選手と三雲選手が大会新記録で金メダルを勝ち取るなど、選手団の強化練習が成果に結びつきました。水泳では知的障害者の200メートルに初出場。見事に銅メダルをつかみました。

一方、団体競技では、3年連続で九州ブロック代表として出場した本県グランドソフトボールチームは、準決勝で敗退。3位決定戦にも敗れメダルに手が届きませんでした。

第13回全国障害者スポーツ大会「スポーツ祭東京2013」鹿児島県選手団結果

\*大会新記録

氏名	競技	障害区分	種目1	記録	順位	種目2	記録	順位	所属
西之園 楓 馬	陸上競技	肢体19	200m	1分02秒03	5	ｼﾞﾊﾞﾊﾞﾘｯｸｽﾛｰ	9m08	3	県立鹿児島養護学校
永田 和隆	陸上競技	肢体18	ソフトボール投	21m26	1	ｼﾞﾊﾞﾊﾞﾘｯｸｽﾛｰ	13m04*	1	ゆすの里
山下 裕隆	陸上競技	肢体1	100m	13秒00	3	ソフトボール投	50m51	2	鹿児島市
小吹 吉之助	陸上競技	視覚25	50m音響走	7秒11	1	200m	27秒91	1	県立盲学校
川畑 大輔	陸上競技	肢体22	立幅跳	1m64	3	ソフトボール投	31m37	2	薩摩川内市
三雲 明美	陸上競技	視覚24	50m音響走	8秒53*	1	立幅跳	1m91	1	鹿児島市
摺木 永美子	陸上競技	視覚26	ソフトボール投	23m89	1	ｼﾞﾊﾞﾊﾞﾘｯｸｽﾛｰ	14m31	1	県立盲学校
祢答院 エミ子	陸上競技	聴覚27	立幅跳	1m31	1	砲丸投	5m53	2	伊佐市
川野 亮介	陸上競技	知的28	50m	6秒98	4	走幅跳	4m80	4	武岡台養護学校
野村 雄輝	陸上競技	知的28	ソフトボール投	66m70	5	ｼﾞﾊﾞﾊﾞﾘｯｸｽﾛｰ	33m52	3	串木野養護学校
餅原 和則	陸上競技	知的28	200m	30秒54	3	走幅跳	4m44	3	慈生園
柳村 照生	陸上競技	知的28	400m	1分08秒89	5	立幅跳	2m40	2	ハイビスカス
山下 直哉	陸上競技	知的28	100m	13秒08	6	200m	26秒92	7	牧之原養護学校
大田 直人	陸上競技	知的28	50m	6秒95	4	立幅跳	2m36	3	鹿屋市てをつなぐ育成会
敷根 春子	陸上競技	知的28	立幅跳	1m67	1	ソフトボール投	30m15	1	新葉学園
小澤 陽子	陸上競技	知的28	400m	1分25秒00	2	800m	—	—	新葉学園
吉田 この身	陸上競技	知的28	100m	15秒36	3	200m	32秒43	5	出水養護学校
三堂 美子	陸上競技	知的28	100m	19秒27	5	走幅跳	2m09	4	さちかぜ
水之浦 修一	水泳	肢体6	50m自由形	50秒96	3	25m背泳ぎ	33秒90	1	鹿児島市
久永 喜八郎	水泳	視覚23	25m自由形	21秒08	1	25m背泳ぎ	31秒20	2	鹿児島市
中尾 涉也	水泳	知的27	25mバタフライ	15秒56	2	50mバタフライ	35秒54	6	鹿児島大学教育学部付属特別支援学校
太田黒 壱成	水泳	知的27	25m自由形	13秒95	5	50m自由形	35秒13	6	鹿児島高等特別支援学校
林 伸悟	水泳	知的27	25m平泳ぎ	17秒37	3	25m平泳ぎ	39秒38	4	サポートなごみ
道岡 彩花	水泳	知的27	25m自由形	19秒01	5	25m背泳ぎ	24秒95	4	鹿児島城西高等学校
上本 ちよみ	アーチェリー	聴覚7	リカーブ	377点	1	—	—	—	鹿屋市
満田 百代	卓球	肢体6	一般卓球	5点	1	—	—	—	霧島市
有得 勝子	卓球	肢体4	一般卓球	3点	4	—	—	—	熊毛地区
桑代 ひとみ	卓球(SIT)	視覚15	ソフトボール投	2点	3	—	—	—	南九州市
桑 好貴	卓球	知的18	一般卓球	3点	2	—	—	—	鹿児島高等特別支援学校
日比 涼	卓球	知的18	一般卓球	4点	1	—	—	—	出水養護学校
萩原 喬介	フラインク・ディスク	聴覚	ディスクリフト7	5投	5	メンズ・スタンディング	33m56	3	鹿児島市
持留 慎吾	フラインク・ディスク	肢体	ディスクリフト7	4投	5	メンズ・スタンディング	46m42	1	志布志市
清田 ひとみ	フラインク・ディスク	聴覚	ディスクリフト7	7投	4	レディース・スタンディング	36m20	2	鹿児島市
染川 真一	フラインク・ディスク	知的	ディスクリフト7	4投	7	メンズ・スタンディング	34m92	4	育成会(セルブあいら)
矢上 和也	フラインク・ディスク	知的	ディスクリフト7	3投	7	メンズ・スタンディング	35m55	5	末吉学園
高橋 美雪	フラインク・ディスク	知的	ディスクリフト5	5投	6	レディース・スタンディング	33m46	4	薩来園
東條 奈津紀	フラインク・ディスク	知的	ディスクリフト7	3投	7	レディース・スタンディング	27m28	3	なのはな園
山本 宗一郎	ボウリング	知的	ボウリング	614	4	—	—	—	花の木大豆工房・花の木冷菓堂
卓間 圭祐	ボウリング	知的	ボウリング	444	6	—	—	—	(株)カクイックス
1吉田、2大田、3山下直、4川野	陸上競技	知的28	4×100mリレー	53秒58	5	—	—	—	
1太田黒、2中尾、3道岡、4林	水泳	知的27	200mリレー	2分22秒27	3	—	—	—	
団体競技	グランドソフトボール	視覚	準決勝●0対11 (VS東京都) 3位決定戦●3対9 (VS広島県)		—	—	—	—	

獲得メダル数：40個 (金メダル17個、銀メダル9個、銅メダル14個)

大会新記録：2

# あつたかフェス大盛況!

## 来館者 1100名超す

あつたか交流フェスタは各種イベント、スポーツ・文化教室等の体験を通して、障害者と県民が触れ合いながら、ハートピアがごしま、あるいは、障害者についての理解と関心を深めることを目的として、平成21年度から開催しています。

平成25年12月1日にあつたか今回の来館者は1100人超。メイン会場の体育館、二階トレーニング室、エントランスホール、中庭など子供から大人まで多くの方でにぎわいました。

### 【ふれあいステージ】

司会は、おなじみの苑とも子さん。今年も楽しく機転の利いたおしゃべりと心む歌声に魅了されました。

★ステージの位置を変えて観易く!

今年は、昨年まで体育館入口側に設けていたステージを奥に設置。人の流れもスムーズになり、二階を含めパノラマ的な雰囲気です。ステージを楽しむことができました。

### ★スポーツと芸術の舞

幼稚園から一般のメンバー25名で構成するエクセルバトン鹿児島のバトンワーク。小学生から50代のフラガールで構成アンズリウムの優雅な舞。20歳以上の女性が打楽器に合わせ、軽快に激しく踊るKPD Aのタヒチアンダンス。踊りに合わせた色とりどりの個性的なコスチュームも楽しく、熱気あふれる

会場となりました。

### ★バラエティに富んだ音楽♪

ママプラスみゆうの金管アンサンブル。ゼーレ・ムジカ・デユオのヴァイオリンとフルートの親子アンサンブル。ゾウさんバンドの心に響く歌声と演奏。更生会ミュージッククラブの歌とハンドベルなどのほのぼののステージ。正に「音を楽しむ」素敵な時間となりました。

### ★生き生き!健康体操タイム

ボディサブリメントハロハロのリードで、体を動かしたりリズム。心も体もほっかぽか笑顔と元気を取り戻すことができました。

### ★初登場!ハートピア自主クラブ

水曜クラブ(卓球)、ブライインドランナーズ(陸上)、薩摩ぼっけもん(車いすバスケットボール)が実演を交えたクラブ紹介をしていただきました。

### ★大人気!ぐりぐり&さくら

かごしまご当地キャラぐりぐりとさくらが登場し、鹿児島クイズ大会、お楽しみ抽選会を盛り上げてくれました。

### 【体験コーナー】

#### ★癒し体験

毎年大人気のあんまマッサージ(鹿児島盲学校)、骨密度チェック(健康増進センター)、コンデイシヨニンングコーナー(Naughtly)。健康チェックが目的で、毎年参加し、健康増進に役立っている方も多いようです。

#### ★文化体験

カンタン手芸のかわいいサンタクロース作り、フラワーアレンジメントの押し花年賀状作成、自主クラブ翠会によるお茶コーナー。どのコーナーもカンタン!おいしい!と子供も大人も夢中になって体験を楽しんでいました。

#### ★DVD視聴

視覚障害者向けシネマデビュー(主音声・音声解説付き)と聴覚障害者向け手話字幕入りDVDの紹介をしました。

#### 【展示即売会】

手芸品、陶芸、農産物、加工食品などバラエティに富んだ31(過去最高)の出店がありました。丹精込めて作られた品々は、市

販品よりも安くておいしいと両手いっぱい抱えて帰られるお客様もいらつしました。

### 【縁日・キッズコーナー】

イベントを歓迎する玄関ホールは子供たちを中心に大賑わい。わたがし、ポップコーン、輪投げなど。特に手作りの動物的あてゴム射撃は長蛇の列の大人気。命中したときの気分は最高!と子供たちの歓声と笑顔があふれていました。

### 【ニコースポーツ体験】

久しぶりに復活!交流センターお薦めのフライングディスク、スカットボール、バツゴを準備。ワクワクスポーツを楽しんでもらいました。

### 【食事コーナー】

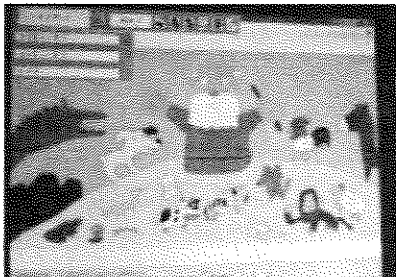
ハートピア1Fのプメハナ、おこわのありき商店、からあげとおでんの喜ざくらのご協力をいただきました。あつたかおいしい食べ物に舌鼓を打ちながら、おいしくいただきました。

### 【惜しみないご協力があればこそ!】

参加協力してくださった個人・団体、裏方として職員のサポートをしてくださったボランティアの皆さんの惜しみないご協力のもと、今年度もあつたかイベントを開催することができました。心より感謝申し上げます。

ます。本当にありがとうございました。さあ、来年度は...。今年度の反省をもとに、「あつたか交流フェスタ2014」を開催します。お楽しみに。

ポスター題字と絵をかいてくださった米盛大翔君の実演もありました。人前でかくのは初めてだったようですが「十二支のおはなし」が完成しました。



# 障害者権利条約が批准

平成25年12月の参議院本会議で「障害者権利条約」締結が承認され、1月20日国連に寄託され、批准となりました。この条約には、これまでEUを含む140ヶ国が加わっており、日本は141ヶ国目です。日本国内では2月19日から効力が生じます。

わが国は平成19年9月に条約に署名はしていましたが、国会の承認はまだでした。政府は21年3月には条約締結に向けた準備を整えようとしたが、障害者団体等の強い要請もあり、これまで条約締結に先立って国内法令の整備を進めてきました。

平成23年6月改正障害者基本法成立、24年6月障害者総合支援法成立、25年6月改正障害

者雇用促進法成立、25年6月障害者差別解消法成立と一連の国内法整備が進み、政府は条約を締結するための条件が整ったとして国会に承認を求めているものです。

今回の批准について各障害者団体では、国内法を整備した上で権利条約批准の承認に至ったことについては一応の評価を下していますが、条約締結はゴールではなく、あくまでもスタート地点に立ったのだという認識が多数のようです。条約を締結すると、条約は、憲法と法律の間に位置する効力を持ち、条約の実施状況を定期的に国連に報告する義務も負います。わが国の今後のよりよい障害者施策の推進にこの条約が活かされることを期待したいものです。

## 第21回九州ブロック身体障害者相談員研修会

療費について県議会に陳情中であること、相談を受けた方の自宅の庭に自動販売機の設置の助言をしたことなど発表されました。

次に佐賀県の山田相談員が、相談員数の削減、廃止を危惧し、佐賀県身連で24年1月に県に「相談員制度に関する緊急要望」を提出したこと、その結果佐賀県では相談員数は4人増員となったという発表がありました。

11月27・28日に長崎県佐世保市ハウステンボスのウインズ佐世保にて開催されました。567名の参加者があり、当県からは30名の相談員が出席しました。今年度は九州身体障害者福祉大会が開催されず、九州身体障害者団体連合会会長表彰をこの場で実施しました。本県からは手塚盛幸氏が組織活動功労賞を受賞されました。前回開催報告の後、「障害者保健福祉施策の動向等について」身体障害者相談支援を中心としてと題して、厚生労働省社会援護局障害保健福祉部障害福祉課課長補佐兼障害福祉専門官の高木憲司氏による講演がありました。

県では、障害者手帳交付時に本人の同意があれば、個人情報を開示してよいとされています。本人が同意しているのであれば、相談員として相談を円滑にするため市（その時はまだ県の所管）と折衝した結果、県も承諾しました。長崎県21市町の中で半数以上は情報開示を実施しており、いずれ大半の市町が開示するの見込まれています。内容は障害の程度、等級、住所、電話などすべて開示提供されるといふこと、新規手帳交付者（身体・精神）は約200名で、知的・精神の方はなかなか開示に承諾されない場合が多いそうですが、3、4割が同意されるということでした。個人情報に漏れた場合はどうするのかとの質問がありました。身分証明書を示しながら話をし、信頼関係を取りながら進めているので悪用されたことはない、という話をされました。

精神的に弱って主張ができない障害者に対して、同じ障害者として乗り越えてきた人の声で意識を強くするためにも、障害者相談員の力はまだまだ発揮できるという話がありました。

その後、「相談員制度の市町村移譲に伴う活動と今後の取り組みについて」というテーマでシンポジウムが行われました。当県からは始良市の竹田正利相談員が事例を発表しました。始良市では障害児の親も相談員に推薦しており、重度心身障害者医

翌日は、日本身体障害者団体連合会の嵐谷安雄会長から一日身連の活動状況について報告と、東日本大震災後の状況を視察に行った際の話があり、続いて九州ブロック相談員協議会理事の福岡県身連の松永会長より報告がありました。最後に長崎県身連土岐会長の総括があり、終了しました。26年度は、佐賀県にて開催されます。皆様の参加をよろしくお願ひします。

問、電話、話し相手など相談員としての向上心がすばらしいという発言もありました。相談員は民間のボランティアであるが、要綱では地域の中核となり活動の推進を図ることとなっている。記録簿を取る中で、相談件数がないという人がいるが、そうでなく、自ら出向いて行ったりすることが大事であり、ピアカウンセラーの部分が含まれているという発言もありました。助言者として長崎県身連の土岐会長が、長崎県の取り組みについて発言されました。長崎

市では障害児の親も相談員に推薦しており、重度心身障害者医

市では、障害者手帳交付時に本人の同意があれば、個人情報を開示してよいとされています。本人が同意しているのであれば、相談員として相談を円滑にするため市（その時はまだ県の所管）と折衝した結果、県も承諾しました。長崎県21市町の中で半数以上は情報開示を実施しており、いずれ大半の市町が開示するの見込まれています。内容は障害の程度、等級、住所、電話などすべて開示提供されるといふこと、新規手帳交付者（身体・精神）は約200名で、知的・精神の方はなかなか開示に承諾されない場合が多いそうですが、3、4割が同意されるということでした。個人情報に漏れた場合はどうするのかとの質問がありました。身分証明書を示しながら話をし、信頼関係を取りながら進めているので悪用されたことはない、という話をされました。

### 40年 身体障害者作品展の歴史に幕

身体障害者作品展は、昭和48年以来、毎年2月に鹿児島市の山形屋で開催し、昨年度で第40回を迎えました。

県内最大の繁華街天文館、そしてその象徴ともいえるべきデパート山形屋での開催ということで、昭和50年代には出展者は400を数え、売り場も活況を呈していました。しかし近年、出展作品に対する品質表示の要請が厳しくなり、また出展者の高齢化ともあいまって、23年度の出展者は19者にとどまるなど、出展者、出品数ともに大きく減少してきました。

このため、他の団体と共催し

を案内しております。

昭和48年以来40年の歴史があり、ライフワークになっていた出展者もいらした催しに幕を引くのは、私どもとしても誠に残念で忸怩たる思いがありますが、何卒諸般の事情をご理解いただきたいと思います。なお、この作品展に出展していただいた方々には、今年度から、障害者週間にちなんで毎年ハートピアかごしまで12月に開催しております「あつたか交流フェスタ」内で行っている「障害者作品展展示即売会」での出展

### 当協会のホームページを一新しました

このたび、当協会のホームページを全面的に見直し、内容の充実を図りました。

例えば、年間の事業計画と実績、予算・決算関係書類、役員や会員の紹介の他、障害者の方々に役立つと思われるリンク集など新たに掲載しました。

今後も障害者スポーツ関連記事の掲載等さらに充実したいと考えておりますので、是非ご活用ください。

また、当協会が管理運営しております県障害者自立交流センターと県視覚障害者情報センターのホームページも活用ください。

アドレスは次のとおりです。  
鹿児島県身体障害者福祉協会  
<http://www.shogaisha-kagoshima.jp/>  
鹿児島県障害者自立交流センター  
<http://heartpiakagoshima.jp/>  
鹿児島県視聴覚障害者情報センター  
<http://www.shichocenter.kagoshima.kagoshima.jp/>

### 平成25年度 社会福祉法人 鹿児島県身体障害者福祉協会 賛助会員

平成25年度の賛助会員・準会員として多数の団体の方々に加入していただきました。

ここに感謝とお礼の意を込めて、ご芳名をご紹介します。ありがとうございました。

社会福祉法人 鹿児島県身体障害者福祉協会 会長 佐藤 彰 矩

(順不同 敬称略)

平成26年2月1日現在

団 体 名	団 体 名
泉原リウマチ内科クリニック	株式会社 北義肢製作所
医療法人愛育会 愛育病院	株式会社 中礼義肢製作所
医療法人愛徳会 上村内科クリニック	株式会社 ミナヨシ
医療法人猪鹿倉会 パールランド病院	有限会社 中央医科器械
医療法人回生会 生駒外科医院	有限会社 平成メディカル
医療法人寛容会 森口病院	鹿児島県行政書士会
社会医療法人義順顕彰会 田上病院	鹿児島県民共済生活協同組合
医療法人慈圭会 八反丸病院	鹿児島県PTA連合会
医療法人至誠会 中村温泉病院	株式会社 指宿白水館
医療法人潤愛会 鮫島病院	株式会社 カクイックスウイング
医療法人神護庵 じんごあん整形外科内科クリニック	株式会社 鹿児島銀行
医療法人人天会 鹿児島こども病院	株式会社 ニシムタ
医療法人静和会 ファミリーHP 薩摩	株式会社 プリンティング三州
医療法人鶴丸会 鶴丸歯科医院	株式会社 山形屋
医療法人隆成会 隆成会病院	九州労働金庫鹿児島県本部
協愛病院	楠元商会
財団法人慈愛会 今村病院	合資会社 甲斐商店
財団法人昭和会 今給黎総合病院	三幸商事株式会社
財団法人東風会 三船病院	社団法人 鹿児島県看護協会
社会医療法人緑泉会 整形外科米盛病院	中原保険事務所
西内科循環器科	有限会社 アート印刷
	リコージャパン株式会社鹿児島支社

計43団体

### 平成25年度 社会福祉法人 鹿児島県身体障害者福祉協会 準会員名簿

(順不同 敬称略)

平成26年2月1日現在

団 体 名	団 体 名
社会福祉法人 希望会	社会福祉法人 ひまわり会
社会福祉法人 常盤会 しろやまの風	